

消費地情報

みかん販売経過～経過・課題と今後の対策について～

和歌山県農業協同組合連合会 大阪事務所



●はじめに

令和2年産のみかん満開期は、平年並み～2日程度早くなり、8月の高温・干ばつによって品質が充実（糖度の上昇）した。

このため、九州産地の極早生みかんは、遅れた前年と比較し3～4日早い入荷スタートとなった。

●露地みかん販売経過

（1）極早生

9月入荷の九州産地の品質は、前年と比較し糖高（0.5～1度高い）、酸切れは比較的良好、果実肥大は平年並～やや小玉傾向で着色はやや青みを感じられるといった状況であった。

本県産のゆら早生は15日頃から各産地とも出揃い、品質面は、日南1号・上野早生など各品種ともに着色・食味面で他銘柄を上回る内容のなか、特にゆら早生は食味が評価され個性化商材的な位置づけで、京阪神地域でも年々引き合いが強まる傾向となっている。

販売面は、主産県とも前年同期と比較し1-2割程度前進出荷し、入荷量に対して鈍めの荷動きから弱含み相場が続いたが、熊本・長崎・愛媛県産の極早生は25日過ぎには概ね終了したため、市場内での目立った滞貨もなく、比較的スムーズな早生へのリレーとなった。

（2）早生

早生の品質面は、銘柄間で差異が見受けられたが、全体的には前年を上回る食味内容であった。

販売面は、11月上旬の京阪神市場みかん入荷実績（日園連調べ）が前年比89%と少なく、前年を上回る相場でのスタートとなった。

量販店での売れ行き（売上高など）は、良好な

品質と新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要などから、前年同期を1-2割上回り、11/20頃迄は好調に推移した。

当初（11/20頃迄）は、前進出荷によって11/25以降の産地出荷量は減少するとの情報であったが、12月に入っても減らず、近年では多めの在庫を抱えるなか贈答需要・普通品種へリレーすることとなった。

（3）普通

12月の第2週から順次切り替わった中生は、天候に恵まれたことなどもあり、浮き皮などは軽微で近年では良好な品質であったが、品種特性などから愛媛県産の南柑20号には見劣りした。

販売面は、赤・青秀のMに一定の引き合いが見受けられるなか、事務所管内では、24日の入荷ピーク期に卸主導で相場の底上げがはかられた。しかし、本年はJA・選果場間での市場入荷量の差が大きく、仲卸の在庫にも同様に差異が見受けられ、翌25日販売では許容量を超えた仲卸と取引する市場では反落相場が目立ち、保合～弱保合の相場展開となり、年内販売を終了した。

また、本年の12月は、本場では概ね本県産70%（うち県農扱い40%）・愛媛県産20%・他県産10%と平年同様の県別入荷ウェイトとなる一方、年末は荷詰まりが際立ったことから、個選・出荷組合の入荷がセーブされた感があった。

年明けは、大手量販店と取引する仲卸を中心に近年では多い在庫を持ち越したことから、主産JAでも初市相場は2,000円/10kgを下回る銘柄が多くなった。関西では年明けの定番規格も基本的にM>Sであることから、Lの相場下落が顕著となったが、底堅いリピート需要から、2月は対前年比で数量増の単価高となるまで徐々に相場は回復し販売を終了することとなった。

●近年（本年）の他県産・消費

地動向、本年の課題

(1) 極早生では、福岡県産の早味かん（YN 系統）が 10 月のブランド品として量販店での取り扱いが増加傾向にある（店頭では 10 月半ば頃迄）ため、本県もゆら早生の増産が望まれる。

(2) 本年産から、大阪本場へ J A にしうわ日の丸共選の入荷が開始された。品質はレギュラー品でも評価は高いが、価格帯がネックで定着には時間を要するとの声が多い。

(3) 本年産は、着果状況が良好なうえ天候に恵まれ正品率が向上した。11/25 頃迄は、産地から計画に対して早生・普通の数量が増える見通しとの情報発信がなく、明確に多いと判明したのは 12 月に入ってからと遅かったため、的確・迅速な修正情報が望まれる。

(4) 品質が良好であったことから、県域的に個性化商材の出荷量が前年に比べ増加した。年毎の出荷量のブレが少ない生産体制によって、新たなギフト需要の獲得など有利販売に繋がる。

(5) みかん取扱高が、県域で前年比 1 割強上回った要因としては、食味が良好なことから、スーパー・量販店でのリピート購入率が上昇し、好調な売れ行きとなったことが挙げられる。なかでも、生協の共同購入や宅配（ギフト）が大きく伸ばした年となった。

(6) 重点市場での消費宣伝の取り組みについてコロナ禍で店頭販促活動の中止などが相次ぐなか、重点卸売会社では、主な取り組みを実施した。（写真参照）

★平和堂での美甘娘プレゼントキャンペーン



★平和堂用オリジナルDBでの売り場づくり



